




事業名	オリンピック・パラリンピックに向けた「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」運営事業		
団体名	特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構	担当課名	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
事業期間	2018年(平成30年)4月1日～2019年(平成31年)3月31日		
事業費	2,116,816円(うち藤沢市負担金2,000,000円)		
目的	<p><事業の目的> 「市民参加型」のオリンピック・パラリンピック競技大会を実現するため「応援団」を結成し、事務局を運営する。</p> <p><協働の目的> ・市民応援団の設立・運営を、パブリックなイメージを持ちつつ柔軟に運営を行うため。 ・応援団活動を藤沢市における他のオリパラ関連施策と連動するため。</p>		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・応援団登録者 5000～1万人 ・事務局からの情報提供を通じたイベント・ボランティア参加 50人 ・オリパラ関連認証プログラム申請・相談数 20件 ・2020年盛り上げ企画ワークショップ(アイデアソン)への参加者 100人 		
達成度・成果・効果	<p><事業の達成度> 団体 100% 担当課 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応援団登録者 12,089人(3月末) ・イベント・ボランティア体験によるボランティアの土壌拡大 参加者数 630人 ・認証プログラム申請・相談数 22件 ・アイデアソンを実施し、市民による活動がスタートする段階まで達成 参加者数(準備会含む) 185人 <p><協働の達成度> 団体 100% 担当課 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体をはじめ多様なステークホルダーの協力のもと、広く一般の方々に信頼を得ることができた。 ・団員と協力したイベント当日の運営や、団員からのLINE投稿への対応など、市民や団員に寄り添う形で硬くなりすぎない事務局運営ができた。 ・オリンピック・パラリンピック関連の施策やイベント等を、団員に向けSNSや紙媒体などを通じて、周知する事ができた。 ・市民活動団体向け認証プログラム説明会を実施。開催回数2回 ・アイデアソンの実施による企画案づくり。企画数10本 		
	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">応援団員1万人 突破記念</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">アイデアソン</div> </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">リーフレット</div>  </div>		
課題・対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等が自ら考えた企画案を実現させる場面をあまり作ることができなかった。次年度事業の中心テーマとして検討する。 ・応援団の取組みの発信が不十分であり、参加のハードルを下げきれなかった。アーカイブ化関係団体との連携と、各種メディアの活用方法を検討する。 ・既にボランティアやおもてなしの企画案を持つ団体に対し、発表の場をうまく提供できなかった。団体から活動イメージを聞き取り、セーリングワールドカップなどの場面で実施できるよう事前調整を進める。 ・大会組織委員会からブランド管理に関する整理を必要とされたため、市民応援団が他団体と連携する際のルールを定める。 ・応援団を契機に創出された市民活動が2020年以降も継続する方策について、既存活動との連携等、継続方法を探る。 		